



グルモール

第1号

JAPANESE SCHOOL, NEW DELHI 2023 令和5年4月28日(金)

令和5年度の教育活動がスタートしました

校長 尾後貫 智

4月11日(月)、令和5年度がスタートしました。着任式では8名の先生方、ナマステの会では41名の新しいお友だちと出会いの挨拶を交わしました。その後の入学式では、新1年生が21名、新7年生が20名入学し、全校児童生徒191名となりました。一年間で42名増えたこととなります。

始業式では、子どもたちの学校生活のスタートにあたり、2つのキーワードで話をしました。1つめは、「スイッチ」。学校生活の中で一つ一つのことにはじめをつけて、「今やること」に集中してほしいと考えたからです。心のチャンネルをしっかり切り替えて、充実した学校生活を送ってほしいと思います。2つめのキーワードは、「友だち」。友だちを大切にしようと話しました。学校は共同生活の場です。教室にいる時、校庭で遊ぶ時、常に自分の周りの友だちと行動しなければなりません。「友だちを大切にしなければいけない」という言葉はどの子どもも知っています。しかし、新学期がスタートするこの時期になぜ友達を大切にするのかをあらためて考えてほしいと思い、子どもたちに投げかけました。

また、21日には授業参観・懇談会に続いてPTA総会が開かれました。その中で私の学校運営方針として、「自分の子どもを通わせたい学校」を目指していきたいと保護者の皆様へ話しました。これを担任の先生の立場へ置き換えるならば、「自分の子どもを通わせたい学級」になるかと思います。これは子どもをお預かりする学校としての一つの物差しであると私は考えています。実際私の子どもはもう二十歳を過ぎていますが、自分の子どもを通わせたい学校を先生方とともに目指していきたいと話しました。

もう一つとして、私たち教員は、言うまでもなく子どもの支えになりたいと考え、毎日授業を行い、子ども達とともに学校生活をしています。子どもの成長を手助けする応援団でありたいと願いつつ、日々精進しています。と同時に、その中で子ども教員は子ども達の笑顔に支えられ、子ども達から元気をもらっています。教員は自分たちは子ども達の応援団のつもりでいますが、実のところ、子ども達に元気をもらい、それは応援してもらっていることにもなります。

また、私たち教員は、保護者の皆様から子育ての悩み等をお聞きし、いっしょに考えています。教員は「子育ての応援団」のつもりで、いろいろな話をします。と同時に、そういった時に、保護者の方からの温かい言葉や協力によって、教員は元気づけられているものです。ですから、保護者のみなさんは私たちの大切な応援団なのです。

このように考えてみますと、教員は子ども達の応援団、そして、子どもは教員の応援団と言えます。また、教員は保護者の方の応援団、そして、保護者の方は我々教員の応援団だと考えることもできます。私は子ども達と教員、保護者と教員が「お互いがお互いの応援団」になれますように、そしてかけがえないインドでの貴重な日々をお互い支え合っていることを願ってやみません。

学校教育は何と言っても家庭と学校の信頼の絆が基盤になります。強い信頼関係を築くため、ニューデリー日本人学校は、保護者の皆様いつでも扉を開いております。海外にある日本人学校の特徴を生かしながら、保護者の皆様や日本人社会の期待に応える信頼された学校作りを、全職員が一丸となって誠心誠意努力していく所存ですので、本校の教育活動へのご理解、ご協力をよろしく願いいたします。



ナマステの会で歓迎！



46名のみなさん、ようこそニューデリー日本人学校へ。はじめはみんなが転入生です。たくさんの友達と一緒に、学校生活を楽しんでください。そして、魅力あるインドの国で、一緒に学んで行きましょう。

＜誰もがみんな一度は転校生！心配しないで。＞



ご入学おめでとうございます



10日には、ニューデリー日本人学校の入学式が挙行されました。在インド日本国大使館河津次席公使様、木村学校理事長様、岡崎PTA会長様をはじめ、11名のご来賓を迎え、小学部1年23名、中学部1年20名が晴れやかなスタートを切りました。



<新任職員> (敬称略)

8名の職員が着任しました。

どうぞよろしく申し上げます。

尾後 貫 智	校長	千葉県から
川澄 健作	教諭	神奈川県から
増田 和記	教諭	大阪府から
鈴木 泉	教諭	東京都から
野口 悦子	教諭	沖縄県から
中島 美裕	教諭	大阪府から
大高 明子	教諭	東京都から
坪井 大祐	教諭	埼玉県から



<新任職員よりのメッセージ>

この度ニューデリー日本人学校に着任しました校長の尾後貫智（おごぬきさとし）です。派遣は今回で3度目になりますが、インドは私にとって未知の世界です。子どもたちと共に異文化を学びインドという国が持つ奥深さを知っていきたくと思っています。毎日学校へ子どもたちを送り出す保護者の皆様の思いをしっかりと受け止め、「ニューデリー日本人学校に通わせてよかった」と思っていただけのように、職員と共に頑張っていきますので、在外教育に対するご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。 尾後 貫 智

初めてインドに来てうれしいことがたくさんありました。①空港に着いた時の全職員でのお出迎え、笑顔でようこそ～と言っていたこと②G1～G9の子どもたちがとにかくかわいくて、礼儀正しくて明るいこと。これから私もニューデリー日本人学校の一員として「前向き」「笑顔で」共に成長していきたいと思っています。 よろしく申し上げます。 川澄 健作

大阪府から赴任してきました、増田和記と申します。G4・2の担任をすることになりました。インドにきて感じたことは、やっぱり暑い。わかっていただけ暑い。でも、そんなことを忘れさせてくれるほど、子ども達は人懐っこく、礼儀正しい子が多い！！そんな、学校で一緒に学び、楽しく生活し、ともに成長していきましょう。 増田 和記

東京都より赴任いたしました。ニューデリー日本人学校のみなさんの元気な挨拶や、一生懸命勉強している姿に、毎日感動しています。みなさんの教室に顔を出させていただく予定ですので、見かけたら気軽に声をかけていただけると嬉しいです。どうぞよろしくお願いいたします。 鈴木 泉

初めまして。野口悦子と申します。英語を担当します。海外での勤務は初めてで、不安でいっぱいですが、児童生徒の元気で明るい様子に励まされています。一日も早く慣れて、インド生活を楽しまたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。 野口 悦子

大阪から赴任しました中島美裕です。大好きなニューデリー日本人学校に3度目の赴任となりました。着任式では、見知った顔の児童を見てその成長を頼もしく感じました。今年度は、2年1組の担任をさせていただきます。子どもたちが、楽しく充実した学校生活を送ることができるよう努力して参ります。どうぞよろしくお願いいたします。 中島 美裕

「何て温かい学校なのだろう！」着任した日から毎日のように感じています。着任式では、代表児童から新任教員一同へ期待のこもった歓迎の言葉と共に花輪をいただき、感激しました。その後も全校児童が見守る歓送迎会に心が温かくなり、この学校の一員になったことを心から嬉しく思います。子供たちと共に楽しく学んでいきます。どうぞよろしくお願いいたします。 大高 明子

インドへの赴任が決まってからの約2か月間、わくわくがとまらずとても楽しみでした。インドでの生活は期待以上で毎日楽しく過ごせています。その環境の中で健やかに、のびのびと成長している子どもに携わることができとても幸せです。まだまだインドも私も子どもも発展途上。ともに成長していきましょう！ 坪井 大祐

授業参観・学級懇談会・第1回PTA総会

新型コロナウイルス感染症拡大防止策をとりながらも、授業参観・学級懇談会・PTA総会を順当に行うことができました。

PTAの皆様、今年もお世話になりますが、どうぞよろしくお願いいたします。



現在の児童生徒数 (4月28日現在)

	男子	女子	計
小1年	10	12	22
小2年	15	11	26
小3年	7	11	18
小4年	9	13	22
小5年	14	15	29
小6年	11	10	21
中1年	12	8	20
中2年	10	2	12
中3年	6	10	16
スーリヤ	2	2	4
計	71	80	190

世界一の日本人学校を目指して、がんばります！

